

いつまでもいきいき暮らすために

平成27年度 御影北部・御影中部

「認知症予防と支え合いのまちづくり運動」まとめの会

平成28年3月6日（日）14時～17時

於：御影北地域福祉センター

当日は元福岡大学教授 山田達夫先生はじめ、御影北部・中部の推進委員とご協力いただいている各方面の方々27名の参加で開催されました。

東灘区老人クラブ連合会 岡部政人会長の開会挨拶後、山田達夫先生により『認知症予防のまちづくりを更に進めるために』と題して、医療・介護・福祉と地域とのネットワーク作りの重要性、そして地域の方・認知症の方・家族の方の居場所作りといかに活動を継続すべきかがポイントであり、御影地域での取り組みに協力しつつも今後期待していることをお話いただきました。

次に、認知症予防カフェ平成27年度活動報告が行われました。御影北部地域の認知症予防の会「木曜会」は、2年目を迎え参加者はさらに増加し、運動と毎回工夫を凝らした内容で笑いの絶えない楽しい集まりが続いています。さらに9月から脳トレを中心とした「火曜会」も立ち上がり、四字熟語・ことわざ・都道府県県庁所在地などの課題に取り組んでいるそうです。地域の催しにもスタッフとして積極的に参加するなど、地域とのつながりも強まっています。

認知症予防カフェ「御影いきいきクラブ」の活動も1年半を過ぎましたが、メンバーで考えた脳を元気にする様々な活動に楽しく取り組まれています。一方、御影中部地域では、平成27年1月から月1回計6回の「サポーター養成講座」を開催し、「認知症予防の方法と可能性とは？」など、認知症に関する伊藤米美理事長の講義を受け、その中で地域の特性や資源などについて意見交換も活発に行われました。さらに、「ステップアップ講座」を実施し、認知症予防サポーターも誕生の予定です。また、居場所マップ作成も東灘区社会福祉協議会の協力のもと行われています。

両地域での活動は昨年度より一段と地域に根付いたものとなり、居場所を増やそうという思いが老人会「中御影笑和会」の誕生にもつながりました。

地域の活動を支えるネットワーク作りに、東灘区社会福祉協議会・地域包括支援センターからも支援の心強いエールをいただき、平成28年度の活動に大きな励みとなりました。

